

ののさき学園だより 5

ののさき道徳授業研究会・模擬授業

6月7日(火) 16:30

参加者：和氣(野中)、松田・福崎(薄葉小)、大内(石上小)

- 1 主題名 挫折の先の自分
【A-(3) 向上心、個性の伸長】
- 2 ジャマナカめ
- 3 ねらい

新たな目標を見つけたり、難しい課題を解決したりしていく山中さんの生き方に触れて、自分自身の個性を伸ばして、充実した生き方を追求していこうとする態度を育む。

- 4 あらすじ

iPS細胞によりノーベル賞を受賞した山中伸弥さんの話、輝かしい成功は、けっして順調であったわけではなく、病院に勤めたときに、手術が下手で、「おまえはジャマヤ」→『ジャマナカめ』と言われ、臨床医を挫折、その後研究者も挫折しそうになった。が最終的にiPS細胞を作り、ノーベル賞を受賞する。



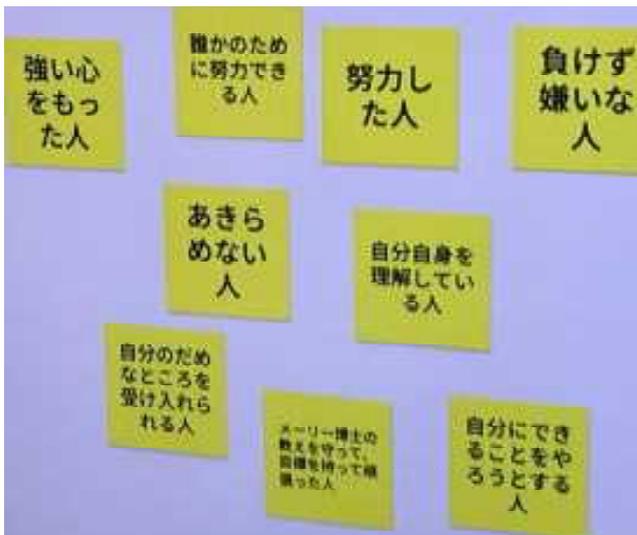
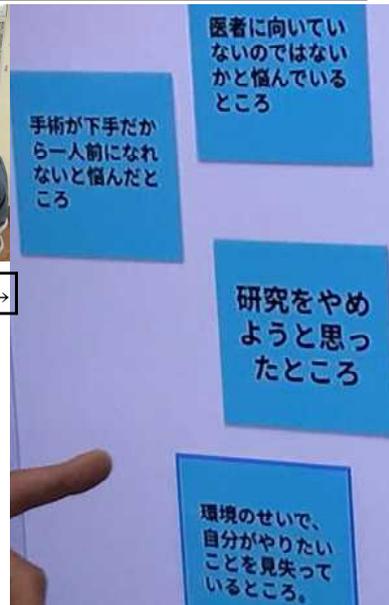
中心発問 挫折、弱い心も含めて個性であり、どの個性も自分を伸ばすきっかけになる。というような中心発問はないか考え、議論するメンバー

☆山中さんへ「頑張る細胞を見てあげたのはどうですか。」



ネガティブな心 →

ポジティブな心 ↓



☆短所も長所も特徴の一側面であることを踏まえつつかけがえのない自分を肯定的に捉えさせるとともに、自己の優れている面の発見に努めさせることが大切。自分の良さはわからないことが多いため、生徒相互の信頼関係を基に互いに高め合う人間関係を作ることが重要である。

